

通じる

**現場力を強める
まる覚えカタコト英語**

はじめに

世の中には、コミュニケーションが上手な人とそうでない人がいます。私は自分の経験から、饒舌でなくても、少ない言葉で理解し合える手段を持っている人こそコミュニケーション上手であると考えます。そして、その人たちに共通なことは、“得意なもの”を持っているということです。自分の得意なことはもちろん伝えられます。逆に相手が伝えようとするのは、得意になるまでの努力がわかっているのです、じっくり受け入れる余裕があります。

日本が海外に進出するようになってから、工場の現場で働いている人が、ある日突然「外国人に教えなさい」とか「海外工場に赴任です」と言われることができました。自分が指名されたうれしさはあるものの、同時に不安も湧き出てきます。特に外国語を使う必要がなかった人は、途方にくれてしまうかもしれません。いまから英語を勉強して、間に合うだろうか…。

しかし生産現場で働いている皆さんは、ものをつくっていますから、言葉よりも腕がものを言うといった強みがあります。まさに“得意なもの”があるわけです。いまは監督者となっても、ものづくりでは誰にも負けないはずですよ。これを教え込めばいいわけです。場合によっては「毎日やっていること」を教えればよいということもあります。労務や経理や販売などで、外国人相手の仕事となると、それなりの英語のレベルが求められます。それに比べれば、現場で働く皆さんの場合、確かな技能と豊富な知識が、言葉の不足をカバーしてくれます。

このテキストは、英語の不得手な監督者が、日本や外国でトレーナーとして、英語を話せる研修生に仕事を教えることを想定して書いています。もちろん、それ以外の状況にも応用できる内容です。

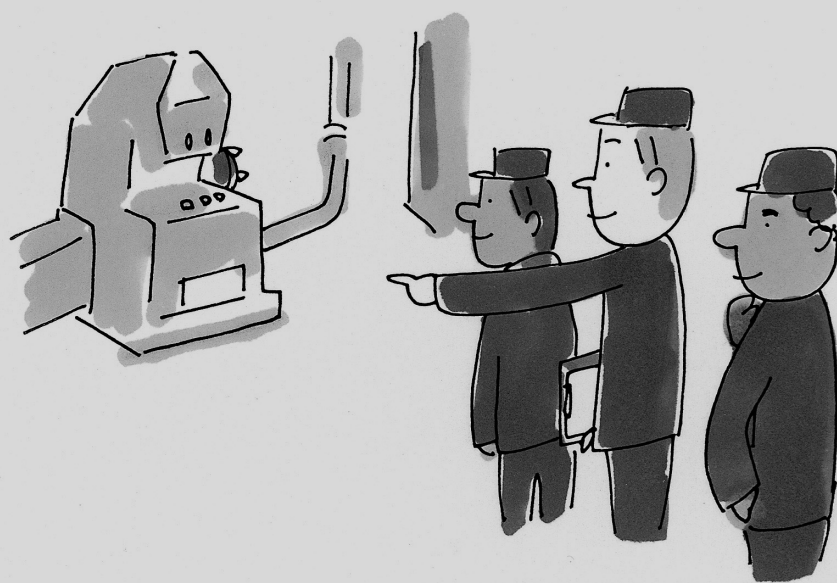
各レッスン、左のページは短い会話のやりとり、右のページは解説や応用会話を中心に構成されています。現場で実際に使われている用語をできるだけ多く盛り込み、単語を入れ替えれば、いろいろな場面で活用できるようになっています。テキストを指で示して「これを言いたいのです」といった使い方もできます。また、このなかの単語や短い文章にならって、自分たちで単語帳や会話帳をつくったら役立つと思います。「参考」では、外国の労働習慣や文化、外国人との接し方のポイントなどにも触れていますので、彼らと上手につきあうためのヒントにしてください。

1つか2つの単語での会話でもけっこう。体全体を使っただけのゼスチュアでもけっこう。さあ、体当たりでコミュニケーションを図りましょう。

はじめに	3
第Ⅰ部 きっと通じる！ 体当たりのコミュニケーション	5
Lesson 1 「こんにちは。お会いできてうれしいです」 初対面のあいさつと自己紹介	6
Lesson 2 「おはようございます。いかがですか」 日常のあいさつ	8
Lesson 3 「品質第一」 会社の方針・仕事の説明	10
Lesson 4 「これはあなたの作業服です」 職場のルール	12
Lesson 5 「これが私たちの操業カレンダーです」 休日・勤務時間の説明	14
ボキャブラリー・ノート 日常会話編	16
Exercise 1	17
Lesson 6 「ここが私たちの職場です」 職場の案内	18
Lesson 7 「これがあなたのスケジュールです」 研修計画の説明	20
Lesson 8 「私が作業を見せましょう」 技能研修	22
Lesson 9 「3番目の機械を運転してください」 工場で使う数字	24
Lesson 10 「この機械は点検が必要です」 設備・機械・工具	26
ボキャブラリー・ノート 会社・職場編	28
Exercise 2	29
Lesson 11 「これは重要なポイントです」 作業のポイントやコツ	30
Lesson 12 「作業を見せてください」 理解度を確かめる	32
Lesson 13 「安全第一」 安全意識の徹底	34
Lesson 14 「掲示板を見なさい」 掲示板	36
Lesson 15 「フォームに記入してください」 指示・報告・連絡	38
Exercise 3	40
第Ⅱ部 パートナースhipをきずく心からのコミュニケーション	41
Lesson 16 「よくやりました」 ほめる	42
Lesson 17 「あなたはこの不良製品をつくりました」 間違いの指摘	44
Lesson 18 「なぜ遅れたのですか」 叱り方	46
Lesson 19 「提案制度はどうですか」 改善意識の高揚	48
Lesson 20 「あなたのアイデアを提案してください」 創意工夫を引き出す	50
Column 海外勤務に向いている人とは	52
Exercise 4	53
Lesson 21 「訓練マニュアルを完成させましょう」 監督者教育	54
Lesson 22 「英語でコミュニケーションしましょう」 在日外国人とのやり取り	56
Lesson 23 「あなたはどこに祈りに行きますか」 宗教・差別など	58
Lesson 24 「研修はどうですか」 気づかいの言葉	60
Lesson 25 「何か問題がありますか」 仕事上の疑問・不満・要望	62
Column 身をもって知った海外あれこれ	64
Exercise 5	65
Lesson 26 「お母さんはいかがですか」 本音の語り合い	66
Lesson 27 「これは英語で何と言いますか」 英語習得法	68
Lesson 28 「盆踊りは楽しいです」 文化や習慣	70
Lesson 29 「あなたを夕食に招待します」 仕事を離れたつきあい	72
Lesson 30 「この国では何がおいしいですか」 現地での生活	74
ボキャブラリー・ノート 「おつきあい」編	76
Exercise 6	77
Exercise の解答	78

第Ⅰ部

きっと通じる! 体当たりのコミュニケーション



「こんにちは。
お会いできてうれしいです」

ヘロウ ナイス トゥ ミー チュー
Hello! Nice to meet you.

ヘロウ ナイス トゥ ミー チュー
Hello! Nice to meet you.

ナイス トゥ ミー チュー トゥー
Nice to meet you, too.



ダイアログ 1

ト：Hello!

研：Hello! Nice to meet you.

ト：Nice to meet you, too.

ダイアログ 2

研：Are you Mr. Suzuki?

ト：Yes.

研：My name is Jim Thomas.

アイ アム グラッ(ド) トゥ スイー ユー
I am glad to see you.

ト：Me, too.

こんにちは。

こんにちは。お会いできてうれしいです。

私もお会いできてうれしいです。

鈴木さんですか。

はい、そうです。

私の名前はジム・トーマスです。
お会いできてうれしいです。

私もです。

■思いきって話してみましょう

外国の人と話さなければならない、緊張しますね。間違ったら恥ずかしい、通じなかったらどうしようと考えても仕方ありません。相手は日本語がわからない、しょうがない、ここは一番やってみるかと度胸をすえ、まず話してみることです。あなたが気にするほど、相手は英語のレベルを気にしていません。それよりも「あなたがどんな人だろうか」というほうを気にしています。笑顔で、ゆっくりと大きな声であいさつしてみましょう。

■名前は確実に覚えましょう

日本人にとっては外国人の名前が、外国人にとっては日本人の名前が難しく聞き取れないことがあります。できれば名刺を交換して確実に覚えましょう。工場内など名刺が交換できないときには、紙に書くなどして確認しましょう。日本語にない音があって発音しにくい名前は、何回か発音し、確認しておきましょう。

■ファーストネーム(名前)や愛称の受け止め方

お互いに親しくなるまでは、^{ミスター}Mr.(男性)、^{ミス}Ms.(女性)を姓の前に付けましょう(会社では女性に^{ミス}Missや^{ミセス}Mrs.は使いません)。欧米では、親しくなるとファーストネームや愛称で呼び合います。同僚や部下はもちろん、上司や親しい外部の人に対しても使います。作業員が部長を^{ジム}Jimとか^{ビル}Billと呼び捨てで呼んでも、違和感を持つ人はいません。たとえば、あなたが海外工場に行ったとき、相手が^{コール ミー ビル}Call me Bill.(ビルと呼んで)と言ったら、こちらも名前で呼んでいいよと^{コール ミー タロー}Call me Taro.(太郎と呼んで)と意思表示をしましょう。

日本での研修では、日本人がファーストネームで呼ばれることに慣れていないし、周囲も違和感を持つことがあるので、^{ウイ アッド}We ^{サン}add ^{アフター ザ ファミリー}“san” ^{ネイム イン ジャパン}after the family name in Japan.(日本では苗字に「さん」を付けます)と言って、「田中さん」「鈴木さん」「^{ハリス}Harrisさん」と指差しながら示し、「さん」付けで呼んでもらうほうがいいでしょう。

参考

公式のあいさつと慣れてきたときのあいさつ

背広を着て会議室で初めて会うようなときは、公式の(あらたまつた)あいさつをしたほうが無難です。お互いに慣れてきたら一般的なあいさつをしましょう。工場の研修室などでは、初対面でも一般的なあいさつでいいでしょう。

《あらたまつたあいさつ》	^{ヘロウ ハウ ドゥ ユー ドゥ} Hello, how do you do?	こんにちは、はじめまして。
《一般的なあいさつ》	^{ヘロウ ハウ アー ユー} Hello, how are you?	こんにちは、ごきげんいかがですか。
	^{ヘロウ アイ アム グラッド トゥ スイー ユー} Hello, I am glad to see you.	こんにちは、お会いできてうれしいです。
	^{ヘロウ ナイス トゥ ミー チュー} Hello, nice to meet you.	こんにちは、お会いできてうれしいです。